

# 射水市内遺跡発掘調査報告13

— 令和元年度射水市内遺跡発掘調査 —

2021年

富山県射水市教育委員会

# 射水市内遺跡発掘調査報告13

— 令和元年度射水市内遺跡発掘調査 —

2021年

富山県射水市教育委員会

## 例　言

- 1 本書は、令和元年度に富山県射水市内において射水市教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査の調査報告書である。
- 2 発掘調査・出土品整理・報告書刊行は、国庫補助金・県費補助金の交付を受けて実施した。
- 3 調査対象とした埋蔵文化財包蔵地名及び調査位置・原因・面積・期間等は第2章に記した。
- 4 本書の執筆・編集は、射水市教育委員会生涯学習・スポーツ課係長田中明が担当した。
- 5 遺物整理の従事者は、高瀬直子・吉澤泰子である。
- 6 発掘調査に係る出土遺物・図面・写真等の資料は、すべて射水市教育委員会で一括保管している。

## 凡　例

- 1 本書で用いた座標は、世界測地系第VI系に準拠した。方位は真北、水平基準は海拔高である。
- 2 造構実測図の縮尺は、各々のスケールとともにその縮尺を表記した。遺物実測図の縮尺は土器の1/4を基本とし、スケールとともにその縮尺を表記した。
- 3 出土遺物の番号は、遺物実測図・遺物觀察表・写真図版の遺物番号にそれぞれ対応している。
- 4 本書で用いた土層の色調は、小山正忠・竹原秀雄編著「新版標準土色帖」に準拠している。
- 5 第2章の調査地区図版内にある試掘トレンチ脇の記号は、遺物の出土位置を示し、種類は次のとおり表示した。
  - : 繩文土器 ○: 弥生土器 ▽: 古墳土器 ◇: 古代土器器 ▲: 須恵器
  - ◆: 珠洲 □: 中世土器器 ■: 中世陶磁器 ⊗: 近世陶磁器 ▣: 近代以降の遺物
  - ☆: 石製品 ★: 金属製品 ○: 木製品 ⊖: その他の遺物
- 6 遺物実測図中の土器断面の表現は次のとおりとした。
  - : 須恵器・珠洲 ■: 赤彩処理 ■: 煤・炭化物

## 目　次

第1章 射水市の位置と歴史的環境 .....	1
第1節 射水市の位置と歴史的環境 .....	1
第2節 令和元年度実施の埋蔵文化財調査 .....	1
第2章 令和元年度実施の発掘調査 .....	3
第1節 各種開発に伴う試掘調査 .....	3
1. 黒河西山遺跡 .....	5
3. 日の宮遺跡 .....	6
5. 背戸狹間遺跡 .....	7
8. 小杉伊勢領遺跡 .....	8
10. 今井南遺跡 .....	9
12. 戸破神田遺跡 .....	10
14. 黒河尺目遺跡 .....	11
16. 赤田Ⅱ遺跡 .....	12
18. 番總No.23遺跡 .....	13
第2節 工事立会調査 .....	14
6. 日の宮城跡 .....	14
7. 立神B遺跡 .....	15

## 挿図目次

第1図	射水市の位置	1
第2図	射水市内の主要遺跡	2
第3図	令和元年度試掘調査・工事立会調査実施箇所位置図	4
第4図	遺物実測図〔若杉遺跡、今井南遺跡、戸破神田遺跡、朴木A遺跡、 二の井II遺跡、沖塚原東B遺跡〕	16
第5図	遺物実測図〔日の宮城跡、立神B遺跡〕	17

## 表目次

第1表	令和元年度埋蔵文化財試掘調査一覧	3
第2表	令和元年度埋蔵文化財工事立会調査一覧	14
第3表	出土遺物觀察表〔試掘調査・工事立会調査〕	16

## 図版目次

図版1	若杉遺跡 試掘調査	2 T遺構検出・3 T遺構検出・出土遺物（近代磁器）
図版2	今井南遺跡 試掘調査	1 T全景・1 T遺構検出・出土遺物（近代陶磁器）
図版3	戸破神田遺跡 試掘調査	1 T全景・1 T遺構検出・ 出土遺物（近世越中瀬戸・近代陶磁器・不明土師器）
図版4	朴木A遺跡 試掘調査	調査対象地南区全景・6 T全景・ 出土遺物（弥生土器・古代須恵器・中世珠洲）
図版5	赤田II遺跡 試掘調査	調査対象地全景・1 T全景・出土遺物（不明土師器）
図版6	二の井II遺跡 試掘調査	1 T遺構検出・出土遺物（弥生土器・古代須恵器・中世珠洲・ 中世八尾・緑色凝灰岩）
図版7	沖塚原東B遺跡 試掘調査	調査対象地全景・4 T遺構検出・出土遺物（中世珠洲）
図版8	日の宮城跡 工事立会調査	調査状況・遺構検出
図版9	日の宮城跡 工事立会調査	弥生土器出土状況・出土遺物（弥生土器）
図版10	立神B遺跡 工事立会調査	調査状況・出土遺物（磨製石斧）

# 第1章 射水市の位置と歴史的環境

## 第1節 射水市の位置と歴史的環境

射水市は富山県のほぼ中央に位置し、市域は東西約11km、南北約15kmで面積109.43km<sup>2</sup>である。北に富山湾、中央に射水平野、南部に射水丘陵を配し、標高0~140mを測る。

富山市・高岡市と隣接し、交通の便に恵まれていることから、住宅団地造成が頻繁に行われ、ベットタウン化が進んでいる。現在の人口は約9万2千人余である。

市域の大部分を占める射水平野は、東の神通川と西の庄川に挟まれた東西約11km、南北約7kmの沖積平野であり、およそ1万~8千年前に河川によって運ばれた土砂・粘土・礫などの堆積からなる。この沖積層が堆積した時代は海岸線が沖へ後退し、平野部は現在より広かったとみられるが、その後、いわゆる縄文海進期における海面の上昇によって、海岸線の内陸への進出とともに平野部が狭まり、現在の標高約5m以下は海面下に没したと考えられている。

やがて、気候の寒冷化による海岸線の後退と丘陵部からの土砂の堆積が進むと、かつての海は縮小して放生津潟（現：富山新港）としてのみ形を残し、周辺に低湿な射水平野が開けていった。

市域の南部に広がる射水丘陵は、新生代第三紀の青井谷泥岩層を基盤とし、上層に礫と砂泥からなる日ノ宮互層と太閤山火砕岩層の堆積から成る。丘陵部には、鍛冶川・下条川・和田川やその支流によって河岸段丘や樹枝状の谷間が形成されている。

このような自然環境の中で、先人達は集落を形成していくと考えられる。現在、市内には460箇所の遺跡が密集し、平野部では集落遺跡、丘陵部には生産遺跡が多く確認されている。

平野部では、河川に近い地域に高島A遺跡、北高木遺跡、二口油免遺跡、小杉伊勢領遺跡などの集落遺跡が分布し、堅穴建物や掘立柱建物、溝や戸井などが確認されている。生産地である丘陵部と消費地である平野部とを河川が結んで、交通路として機能していたために集落が営まれてきたと考えられている。

丘陵部では国指定史跡の小杉丸山遺跡、小杉流通業務団地内遺跡、上野南遺跡、赤坂A~D遺跡など生産遺跡が集中している。これらの遺跡は、須恵器窯跡約40遺跡、製鉄遺跡約150遺跡を数え、県内最大規模を有する。須恵器生産窯跡や鉄生産製鉄炉と炭窯、工人の住居や作業場が見つかり、窯や炉を築くのに適した地形、粘土や薪・水の供給源が豊富にあることが好条件であったと考えられている。

## 第2節 令和元年度実施の埋蔵文化財調査

令和元年度の射水市管内における各種民間開発事業に係る埋蔵文化財包蔵地の照会件数は281件であった。公共事業関連の開発事業に関しては、関係部局より随時照会を受けるとともに協議を実施している。

文化財保護法第93条の届出件数は46件、同第94条の通知件数は9件であり、うち、発掘調査等による対応件数は、試掘調査が22（うち3件は掘削を並行した分布調査）件、工事立会調査が8件となっている。



第1図 射水市の位置



第2図 射水市内の主要遺跡

## 第2章 令和元年度実施の発掘調査

### 第1節 各種開発に伴う試掘調査

令和元年度に射水市教育委員会が実施した埋蔵文化財の試掘調査件数は22件であった。調査原因としては、個人専用住宅(7件)、宅地造成(3件)、集合住宅(1件)といった住宅関連が50%、民間開発が27.2%、公共事業が22.7%となり、公共事業の調査件数が1.45倍に増加した(前年度比較)。

試掘調査によって保護をすべき埋蔵文化財が確認された際には、原因者に対して盛土保存や計画変更等による埋蔵文化財の現状保存を第一とし、現状保存が不可能となる場合は本発掘調査による記録保存対応での協議を求めている。

No	調査名	種別	所在地	調査序番	調査期間	対象面積	発掘面積	検出品目	出土遺物	調査後の状態
1	黒河西山遺跡 211104	散布地 生産	黒河西山79番1	駐車場造成	R1.5.10	402.0m <sup>2</sup>	21.0m <sup>2</sup>	なし	なし	工事実施 (支障なし)
2	生瀬寺遺跡 211392	集落	生瀬寺308-2	個人専用 住宅造成	R1.5.10	200.0m <sup>2</sup>	10.8m <sup>2</sup>	なし	なし	工事実施 (支障なし)
3	日の出遺跡 211145	散布地 集落	綾下町570番3 95.3m <sup>2</sup>	駐車場造成	R1.5.16	21.89m <sup>2</sup>	95.0m <sup>2</sup>	不明：溝 自然流路	なし	工事実施 (支障なし)
4	看松遺跡 211437	散布地 集落	大鳥野30-1 11.1m <sup>2</sup>	駐車場造成	R1.5.17	2964.0m <sup>2</sup>	145.9m <sup>2</sup>	不明：溝・土坑 自然流路	近代磁器	工事実施 (支障なし)
5	青井田遺跡 211026	散布地	青井田19番1 11.2m <sup>2</sup>	広場建設	R1.5.23	3971.0m <sup>2</sup>	13.8m <sup>2</sup>	なし	なし	工事実施 (支障なし)
6	黒川尺立遺跡 211101	散布地 集落	中老田新568-21	個人専用 住宅造成	R1.5.23	235.2m <sup>2</sup>	15.7m <sup>2</sup>	不明：溝	なし	工事実施 (支障なし)
7	河原尺立遺跡 211101	散布地 集落	中老田新字里丸 568番20	個人専用 住宅造成	R1.5.23	225.3m <sup>2</sup>	13.7m <sup>2</sup>	不明：溝	なし	工事実施 (支障なし)
8	小杉野勢頭遺跡 211097	散布地 集落	三-2237番1 外2号	事務所及び 倉庫建設	R1.7.18	1981.7m <sup>2</sup>	247m <sup>2</sup>	なし	なし	工事実施 (支障なし)
9	加賀社遺跡 211098	散布地 集落	1号1-1 + 260番1 11.1m <sup>2</sup>	宅地造成	R1.7.25	1930.0m <sup>2</sup>	41.2m <sup>2</sup>	なし	なし	工事実施 (支障なし)
10	今井南遺跡 211042	散布地	今井554	個人専用 住宅造成	R1.8.21	408.0m <sup>2</sup>	11.6m <sup>2</sup>	近代：溝	近代陶器	工事実施 (支障なし)
11	太陽山山シド IN/SN-26遺跡 211201	散布地 製鉄	太代櫛田高 95年	ため池整備	R1.8.21	990.0m <sup>2</sup>	37.6m <sup>2</sup>	なし	なし	工事実施 (支障なし)
12	戸崎前田遺跡 211092	散布地	戸崎字神田2099 086-1	集合住宅 建設	R1.10.9	937.0m <sup>2</sup>	37.8m <sup>2</sup>	近代：溝・角戸 近代陶器 小口銅鏡	近世繩文断片 近代陶器 小口銅鏡	工事実施 (支障なし)
13	朴木久遺跡 211036	散布地	朴木79番 95年	宅地造成	R1.11.13-15	3536.0m <sup>2</sup>	161.5m <sup>2</sup>	なし	衛生土器・古代灰燼器 中世珠	工事実施 (支障なし)
14	黒川尺立遺跡 211104	散布地 集落	中老田新字里丸 568-1	個人専用 住宅造成	R1.11.20	241.4m <sup>2</sup>	86m <sup>2</sup>	なし	なし	工事実施 (支障なし)
15	小林野跡 211440	集落	小林45番 外2号	宅地造成	R1.11.28	1,092.0m <sup>2</sup>	33.6m <sup>2</sup>	なし	なし	工事実施 (支障なし)
16	赤羽日遺跡 211100	散布地 集落	横下696-1	料作医院 建設	R1.12.4	937.0m <sup>2</sup>	31.5m <sup>2</sup>	不明：土器	不明：土器	工事実施 (支障なし)
17	二の井日遺跡 211147	散布地 集落	横下698番地	個人専用 住宅造成	R2.1.30	367.0m <sup>2</sup>	24.5m <sup>2</sup>	衛生土器・古代灰燼器 中世灰燼・中世八足 緑色磁灰岩	衛生土器・古代灰燼器 中世灰燼・中世八足 緑色磁灰岩	工事実施 (一部記録保存) 深層構造: 195cm
18	御船山遺跡 211126	駁段	御船230番2	個人専用 住宅造成	R2.2.25	429.0m <sup>2</sup>	27.4m <sup>2</sup>	なし	なし	工事実施 (支障なし)
19	馬糞田南遺跡 211374	散布地	馬糞1番地 外521番	貯糞場 整備	R2.3.9	73,058.0m <sup>2</sup>	350m <sup>2</sup>	衛生土器	分布調査 試掘調査	分布調査 試掘調査
20	馬糞田北遺跡 211375	散布地	馬糞1番地 外521番	貯糞12番 整備	R2.3.11	109,428.0m <sup>2</sup>	340m <sup>2</sup>	衛生: 溝	衛生: 溝・中世珠 中世灰燼・近世陶器	分布調査 試掘調査
21	鳥森田遺跡 211367	散布地	鳥森1番地 外521番	貯糞ばら 整備	R2.3.12	45,840.0m <sup>2</sup>	212m <sup>2</sup>	衛生: 溝	衛生土器	分布調査 試掘調査
22	沖塚前田遺跡 211034	散布地	沖塚12番-1	赤道改良	R2.3.23	360.0m <sup>2</sup>	11.4m <sup>2</sup>	なし	中世珠	工事実施 (支障なし)
計	20遺跡22件		調査対象面積	251,656.0m <sup>2</sup>		発掘面積	877.4m <sup>2</sup>			

第1表 令和元年度埋蔵文化財試掘調査一覧

\*19~21は、「射水市内滋賀発掘調査報告14」に掲載予定



\*地図中●①～●⑩は、第1表及び次頁以降の調査番号に対応【試掘調査】  
\*\*地図中①～⑩は、14頁第2表の調査番号に対応【工事立会】

第3図 令和元年度試掘調査・工事立会調査実施箇所位置図

## 【令和元年度試掘調査概要】

### 1. 黒河西山遺跡

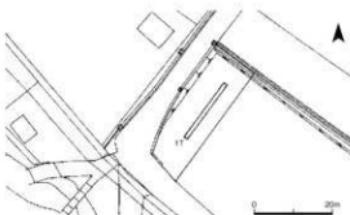
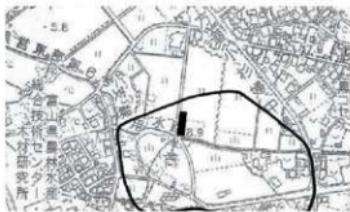
所 在 地 射水市黒河779番1  
調 査 原 因 駐車場造成  
調 査 期 間 令和元年5月10日  
調 査 面 積 対象面積：402.0m<sup>2</sup> 発掘面積：21.0m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし

調査概要 調査対象地は、黒河西山遺跡範囲の北部に位置する雑種地である。

上層から、造成山砂、造成盛土の順に堆積し、地山の浅黄色（2.5Y7/3）粘質土層に至る。

造成盛土には、コンクリート片・加工木材・円礫等が混在し、地山は概ね水平に安定した堆積状況である。

遺構・遺物は確認できなかった。

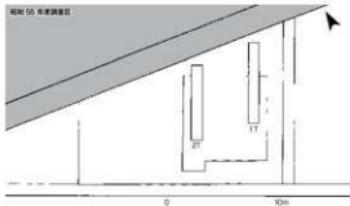


### 2. 生源寺遺跡

所 在 地 射水市生源寺308-2  
調 査 原 因 個人専用住宅建築  
調 査 期 間 令和元年5月10日  
調 査 面 積 対象面積：200m<sup>2</sup> 発掘面積：10.8m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし

調査概要 調査対象地は、生源寺遺跡範囲の中央部に位置する造成地である。

北側隣接地である県道下では、昭和55年の本発掘調査で奈良時代の掘立柱建物群や竪穴状遺構、江戸時代の掘立柱建物跡、井戸、土坑等が発掘され、須恵器・土師器・近世陶磁器が出土したが、今回の調査区に遺構・遺物が確認されなかつたため、遺跡の広がりは見られなかった。



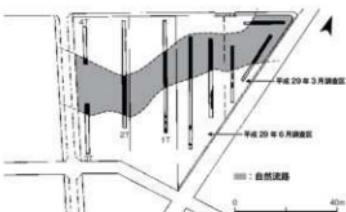
### 3. 日の宮遺跡

所 在 地 射水市橋下条570番3 外3筆  
調査原因 駐車場造成  
調査期間 令和元年5月16日  
調査面積 対象面積：2,189.0m<sup>2</sup> 発掘面積：95.0m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 不明溝・自然流路  
出土遺物 なし

調査概要 調査対象地は、日の宮遺跡範囲の北西部に位置する水田である。

上層から、水田耕土、黒褐色シルトの順に堆積し、地山のにぶい黄色(25Y6/4)シルト層に至る。

中央部で検出した南北方向の自然流路(幅約19m～28m)は、平成29年に北側隣接地の試掘調査で確認した続きであり、調査区南側へのびている。



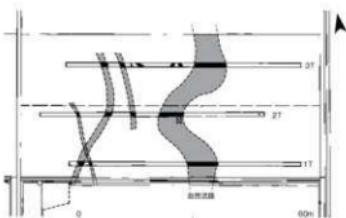
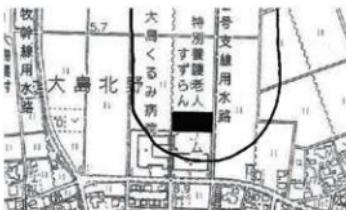
### 4. 若杉遺跡 (第4図1・図版1)

所 在 地 射水市大島北野30-1 外1筆  
調査原因 駐車場造成  
調査期間 令和元年5月17日  
調査面積 対象面積：2,964.0m<sup>2</sup> 発掘面積：145.9m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明・金三津英則  
検出遺構 不明溝・不明土坑・自然流路  
出土遺物 近代磁器

調査概要 調査対象地は、若杉遺跡範囲の南部に位置する水田である。

中央部で検出した南北方向に蛇行する自然流路(幅約6.1m～8.5m)から近代磁器(碗)が出土した。全Tにおいて溝・土坑の遺構を検出したが、出土遺物がないため、時期は不明である。

遺物を包含する土層や遺構が確認されなかったことから、遺跡の広がりは見られなかった。



## 5. 背戸狭間遺跡

所 在 地 射水市善光寺19番1 外13筆  
調 査 原 因 店舗建設  
調 査 期 間 令和元年5月23日  
調 査 面 積 対象面積：3,971.0m<sup>2</sup> 発掘面積：13.8m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし



調査概要 調査対象地は、背戸狭間遺跡範囲の西端部に位置する宅地である。

平成28年度に隣接する2か所（東区・南区）において試掘調査を実施し、遺跡は確認されていないため、店舗建設予定地においても遺跡の広がりが無いものと判断した。今後は埋蔵文化財包蔵地の西側範囲を縮小する必要がある。



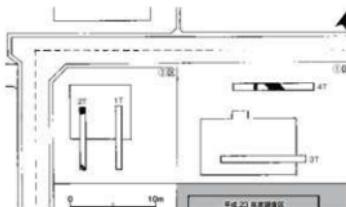
## 6・7. 黒河尺目遺跡

所 在 地 射水市中老田新568-21 (①区)  
射水市中老田新字星丸568番20 (②区)  
調 査 原 因 個人専用住宅建築  
調 査 期 間 令和元年5月23日  
調 査 面 積 対象面積：235.2m<sup>2</sup> (①)・225.3m<sup>2</sup> (②)  
発掘面積：15.7m<sup>2</sup> (①)・13.7m<sup>2</sup> (②)  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 不明溝 (①・②)  
出土遺物 なし (①・②)



調査概要 調査対象地は、黒河尺目遺跡範囲の南部に位置する宅地である。

①・②区ともに溝を検出したが、出土遺物がないため、時期不明。昭和61年度に西方約100mの県道下で本発掘調査を実施し、奈良・平安時代の遺跡を確認しているが、今回の調査区に同時期の遺構や遺物を包含する土層が確認されなかつたため、遺跡の広がりは見られなかった。



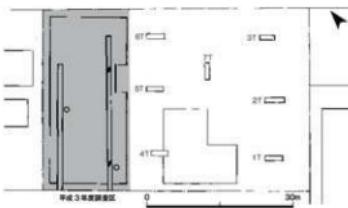
## 8. 小杉伊勢領遺跡

所 在 地 射水市三ヶ2237番1 外2筆  
調 査 原 因 事務所及び倉庫建設  
調 査 期 間 令和元年7月18日  
調 査 面 積 対象面積：1,981.7m<sup>2</sup> 発掘面積：24.7m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし



調査概要 調査対象地は、小杉伊勢領遺跡範囲の北端部に位置する宅地である。

平成3年度、西側隣接地の試掘調査で確認した時期不明の溝は、今回の調査区には広がっていなかった。また、同年度に南方約20m地点で本発掘調査を実施し、弥生時代の遺跡を確認しているが、同時期の遺構・遺物も確認できず、遺跡の広がりは見られなかった。



## 9. 加茂社遺跡

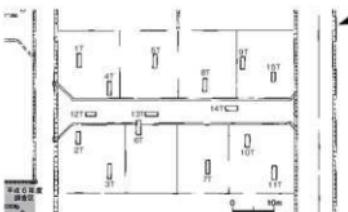
所 在 地 射水市三ヶ2691番1 外1筆  
調 査 原 因 宅地造成  
調 査 期 間 令和元年7月25日  
調 査 面 積 対象面積：1,920.1m<sup>2</sup> 発掘面積：41.2m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明・金三津英則  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし



調査概要 調査対象地は、加茂社遺跡範囲の南西部に位置する駐車場跡地である。

上層から、造成盛土、旧水田耕土の順に堆積し、地山の灰オリーブ色(5Y4/2)シルト層に至る。

平成6・27年度、北側住宅団地内で本発掘調査を実施し、弥生～古墳時代、奈良～平安時代の遺跡を確認しているが、今回の調査区には遺構・遺物は確認できなかった。



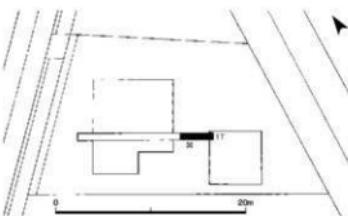
## 10. 今井南遺跡（第4図2、図版2）

所 在 地 射水市今井554  
調 査 原 因 個人専用住宅建築  
調 査 期 間 令和元年8月21日  
調 査 面 積 対象面積：408.8m<sup>2</sup> 発掘面積：11.6m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検 出 遺 構 近代溝  
出 土 遺 物 近代陶磁器

調査概要 調査対象地は、今井南遺跡範囲の北端部に位置する雑種地である。

中央部で南北方向にのびる近代溝を検出し、近代陶磁器（碗・皿）2点が断面より出土した。地山検出レベルより低い、現況下-80cmで基礎コンクリートの埋設が見られ、堆積土の擾乱は著しい。

近代以前の遺物を包含する土層・遺構が確認されなかったことから、今回の調査区は遺跡包蔵地外と判断した。

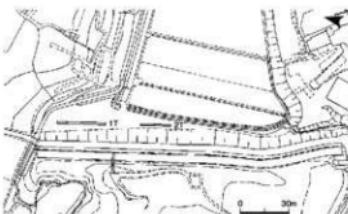


## 11. 太閤山ランド内No.26遺跡

所 在 地 射水市太代堀田高 地先 外2筆  
調 査 原 因 ため池整備  
調 査 期 間 令和元年8月21日  
調 査 面 積 対象面積：990.0m<sup>2</sup> 発掘面積：37.6m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検 出 遺 構 なし  
出 土 遺 物 なし

調査概要 調査対象地は、遺跡包蔵地の中央南端部。ため池堤体の東側に位置する。

1Tは表土直下には水平レベルの地山層（灰白色シルト：7.5Y8/1）を検出したが、2Tは擾乱が著しく殆ど確認できなかった。ため池管理地としての平坦面や用水路を施工する際に、東側隣接地（果樹）からのがていた丘陵端部を切土し、盛土や整地を行ったものと考える。



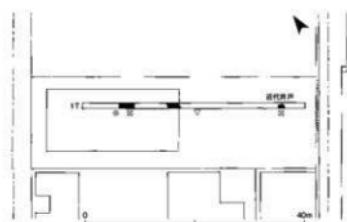
## 12. 戸破神田遺跡（第4図3、図版3）

所 在 地 射水市戸破字神田3999 外2筆  
調査原因 集合住宅建築  
調査期間 令和元年10月9日  
調査面積 対象面積: 937.0m<sup>2</sup> 発掘面積: 37.8m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 近代溝・近代井戸・不明溝  
出土遺物 近世越中瀬戸・近代陶磁器・不明土師器

調査概要 調査対象地は、戸破神田遺跡範囲の南端部に位置する水田である。

1T東側で素掘り井戸、中央で南北方向にのびる溝を検出し、ともに近代陶磁器が出土した。その他の近世越中瀬戸・不明土師器は耕作土からの出土であり、流れ込みと考える。

近代以前の遺物を包含する土層・遺構が確認されなかったことから、今回の調査区は遺跡包蔵地外と判断した。



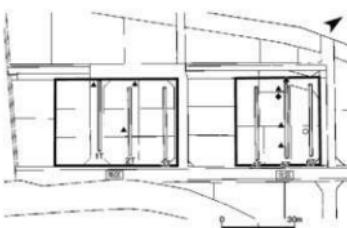
## 13. 朴木A遺跡（第4図4～8、図版4）

所 在 地 射水市朴木79番 外5筆  
調査原因 宅地造成  
調査期間 令和元年11月13日・15日  
調査面積 対象面積: 3,526.0m<sup>2</sup> 発掘面積: 161.5m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 弥生土器・古代須恵器・中世珠洲

調査概要 調査対象地は、朴木A遺跡範囲の中央西端部に位置する水田である。

上層から、水田耕土、オリーブ黒色粘質シルト（自然堆積土）の順に堆積し、地山の灰白色（7.5Y7/2）粘質シルト層に至る。

出土遺物は、全て遺構に伴わない耕土中または表面採集のため、流れ込みと考え、遺跡年代を特定するものではない。



## 14. 黒河尺目遺跡

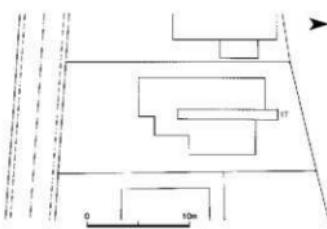
所 在 地 射水市中老田新字星丸586-3  
調 査 原 因 個人専用住宅建築  
調 査 期 間 令和元年11月20日  
調 査 面 積 対象面積：241.4m<sup>2</sup> 発掘面積：8.6m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし



調査概要 調査対象地は、黒河尺目遺跡の南部に位置する宅地である。

上層から、碎石、黒褐色シルト(造成盛土)の順に堆積し、地山の淡黄色(5Y8/3)粘質シルト層に至る。

昭和61年度に西方約100mの県道下で本発掘調査を実施し、奈良・平安時代の遺跡を確認しているが、今回の調査区には遺構・遺物は確認できなかった。



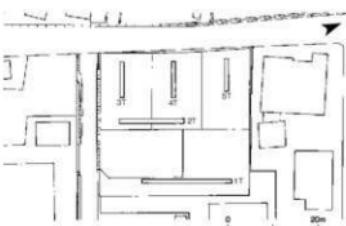
## 15. 小林遺跡

所 在 地 射水市小林345番 外2筆  
調 査 原 因 宅地造成  
調 査 期 間 令和元年11月28日  
調 査 面 積 対象面積：1,082.0m<sup>2</sup> 発掘面積：53.5m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし



調査概要 調査対象地は、小林遺跡範囲の北西端部に位置する畠地である。土層は5層に細分され、地山は灰黄色(2.5Y7/2)粘質シルト層が堆積する。

平成9～11年度に東方約180mの市道下で本発掘調査を実施し、弥生時代～平安時代の遺跡を確認しているが、今回の調査区には遺構・遺物も確認できず、遺跡の広がりは見られなかった。

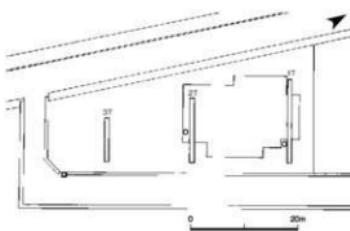


## 16. 赤田Ⅱ遺跡（図版5）

所 在 地 射水市橋下条996-1  
調査原因 歯科医院建設  
調査期間 令和元年12月4日  
調査面積 対象面積：957.0m<sup>2</sup> 発掘面積：31.5m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 不明土師器

**調査概要** 調査対象地は、赤田Ⅱ遺跡範囲の北西部に位置する水田である。遺物は、全て遺構に伴わない耕作土からの出土であり、流れ込みと考える。

平成30年度に北東約200mの土地区画整理事業で本発掘調査を実施し、弥生～古墳時代、奈良～平安時代の2時期の遺跡を確認しているが、今回の調査区には遺跡の広がりは見られなかつた。



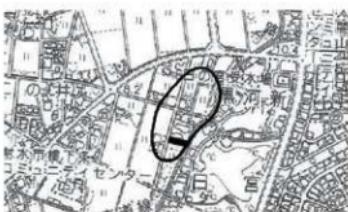
## 17. 二の井Ⅱ遺跡（第4図9～11、図版6）

所 在 地 射水市橋下条698番地  
調査原因 個人専用住宅建築  
調査期間 令和2年1月10日  
調査面積 対象面積：367.0m<sup>2</sup> 発掘面積：24.5m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 弥生溝  
出土遺物 弥生土器・古代須恵器・中世珠洲  
中世八尾・緑色凝灰岩

**調査概要** 調査対象地は、二の井Ⅱ遺跡範囲の南部に位置する宅地である。

1 Tで検出した遺構から弥生土器が出士したため、東西方向に拡張し、その広がりを確認した。弥生溝は全長7.4m、幅45～70cm、深さは最深で16cmを測り、北東端は調査区外へのびる。

埋蔵文化財が遺存し保護措置が必要となる範囲（195m<sup>2</sup>）は、建物両側面部と後方から農道までとする。

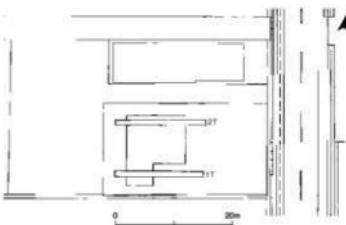


## 18. 畑縁No.23遺跡

所 在 地 射水市池多250番2  
調 査 原 因 個人専用住宅建築  
調 査 期 間 令和2年2月25日  
調 査 面 積 対象面積: 429.0m<sup>2</sup> 発掘面積: 27.4m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 なし

調査概要 調査対象地は、畑縁No.23遺跡範囲の南東端部に位置する水田である。土層は4層に細分され、地山は灰白色(7.5Y7/1)粘質シルト層が堆積する。

地山層からは湧水が見られ、軟質な土壤となっていたため、調査区周辺は湿地帯であったと考える。遺物を包含する土層や遺構が確認されなかつたことから、遺跡の広がりは見られなかつた。



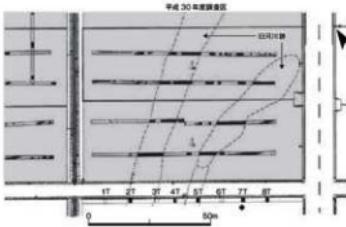
## 22. 沖塚原東B遺跡 (第4図12、図版7)

所 在 地 射水市沖塚原127-1  
調 査 原 因 市道改良  
調 査 期 間 令和2年3月23日  
調 査 面 積 対象面積: 260.0m<sup>2</sup> 発掘面積: 11.4m<sup>2</sup>  
調査担当者 田中 明  
検出遺構 なし  
出土遺物 中世珠洲

調査概要 調査対象地は、沖塚原東B遺跡範囲の中央部に位置する水田である。

平成30年度、北側隣接地で実施した試掘調査で確認した旧河川跡（近代に埋め立てられた旧神楽川流路）を2・5Tで検出した。中世珠洲は耕土からの出土。

同年度、北西約60mの斎場建設に先立つ本発掘調査で確認された中世期の遺跡の広がりは見られなかつた。



## 第2節 工事立会調査

周知の埋蔵文化財保有地内の土木工事の届出を受けた案件のうち、市街地での住宅建替え、個人住宅建築に係る柱状地盤改良、掘削面積が狭小な水路など、通常の発掘調査の実施が困難な場合や、埋蔵文化財への影響が生じない範囲での掘削工事のうち、地下の埋蔵文化財の状況がある程度明らかになっており埋蔵文化財への影響確認が必要な場合に、工事立会調査を実施した。

令和元年度に射水市教育委員会が実施した埋蔵文化財の工事立会調査件数は8件であった。

No.	調査名	種別	所在地	調査原因	調査期間	対象面積	検出遺構	出土遺物
1	本江宮田遺跡 211005	散布地	大門本江字番代602番	個人専用 住宅建築	H31.4.8	843.7m <sup>2</sup>	なし	なし
2	復興小砂焼小吉原塗跡 211009	里	三ヶ字中吉原3721番地1	既設地・調査	H31.12.5 - 26	802.65m <sup>2</sup>	なし	なし
3	南御林頭遺跡 211005	散布地	青光寺16-2 922番	個人専用 住宅建築	R1.2.1	211.44m <sup>2</sup>	なし	なし
4	中山中入遺跡 211005	集落・古墳	太閤山丁目55	個人専用 住宅建築	R1.5.6	406.67m <sup>2</sup>	なし	なし
5	朴木入遺跡 211006	散布地	朴490番3	既設地・調査	R1.10.30	12.90m <sup>2</sup>	なし	なし
6	御林頭遺跡 211009	散布地・集落 城壁	日吉寺字寺山141 外17筆	急傾斜地崩壊 工事	H31.11.6 R2.1.17 - 19	209.00m <sup>2</sup>	弥生：漆 漆器土器・中世珠洲・ 緑色凝灰岩	なし
7	立待B入遺跡 211008	製鉄	八合地字立待2 留2筆	森林作業道 開設工事	R2.1.29 - 31	902.00m <sup>2</sup>	なし	碧玉石斧
8	赤田1入遺跡 211001	散布地・集落	赤田第2土地地区商整理事業 保留地15街区1号	個人専用 住宅建築	R2.3.12	219.30m <sup>2</sup>	なし	なし
計	8遺跡8件		調査対象面積	3,606.9m <sup>2</sup>				

第2表 令和元年度埋蔵文化財工事立会調査一覧

### 6. 日の宮城跡（第5図13~30 8・9）

所 在 地 射水市日吉寺山141 外17筆  
 調 査 原 因 急傾斜地崩壊対策工事  
 調 査 期 間 令和元年11月6日、令和2年2月17・19日  
 調 査 面 積 対象面積：209.0m<sup>2</sup>  
 調査担当者 田中 明  
 検 出 遺 構 弥生溝  
 出 土 遺 物 弥生土器・中世珠洲・緑色凝灰岩



**調査概要** 調査対象地は、市指定史跡「日の宮城跡」二ノ丸北側の丘陵端部に位置する。日宮城築城に伴う遺構・遺物は確認できなかったが、築城前の弥生時代後期の大溝（上端幅6.5m・下端幅3.5m・深さ2m）を検出した。大溝は、二ノ丸南側の試掘調査区（平成13年度）においても確認されていた継ぎであり、直線的にびた後、北西側に屈曲したものと考える。本丸の丘陵頂部を中心として周囲環濠の役割が想定される。

遺物は弥生土器、珠洲、緑色凝灰岩が出土している。第5図13は体部が梢円形の弥生土器長頸壺。18は有段口縁、19は「く」の字状口縁の弥生土器甕で外面に煤が付着している。23・24は赤彩が施されている高坏。弥生土器は全て弥生時代後期のものである。

## 7. 立神B遺跡（第5図31、図版10）

**所在地** 射水市入会地字立神27 外3筆  
**調査原因** 森林作業道開設工事  
**調査期間** 令和2年1月29日・31日  
**調査面積** 対象面積：902.0m<sup>2</sup>  
**調査担当者** 田中 明  
**検出遺構** なし  
**出土遺物** 磨製石斧

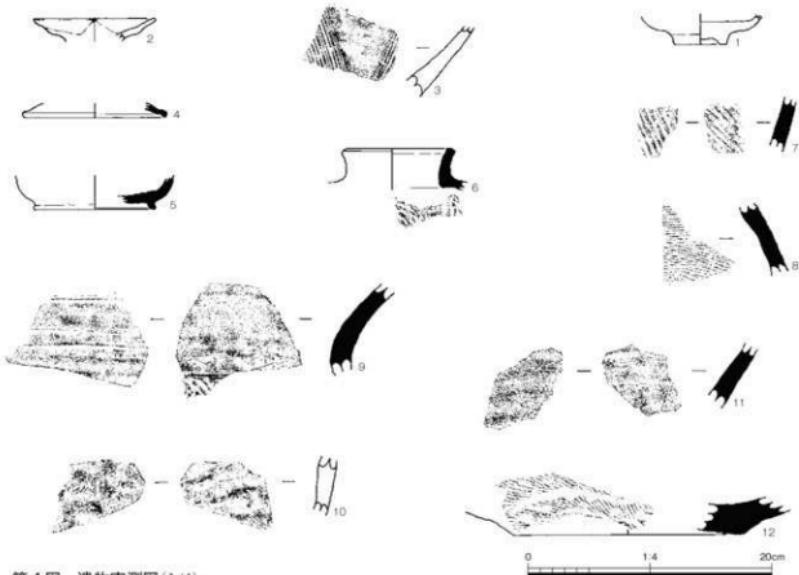
**調査概要** 調査対象地は、遺跡包蔵地のほぼ全域に位置する山林である。

標高約70mの尾根上、開削した法面から磨製石斧が出土した。遺跡から南東に直線距離約350mには県指定史跡「水上谷遺跡」があり、昭和48年に本発掘調査を実施し、縄文時代中期中葉の竪穴建物跡や石組炉などの集落跡が確認されている。今回の磨製石斧出土によって縄文時代の生活圏内に、本遺跡も含まれていたことが考えられる。



## 参考文献

- 原田義範 2003年「日宮城跡発掘調査概要－個人住宅建築に伴う埋蔵文化財調査－」 小杉町教育委員会  
田中 明 2020年「射水市内道路発掘調査報告12－平成30年度射水市内道路発掘調査－」 射水市教育委員会



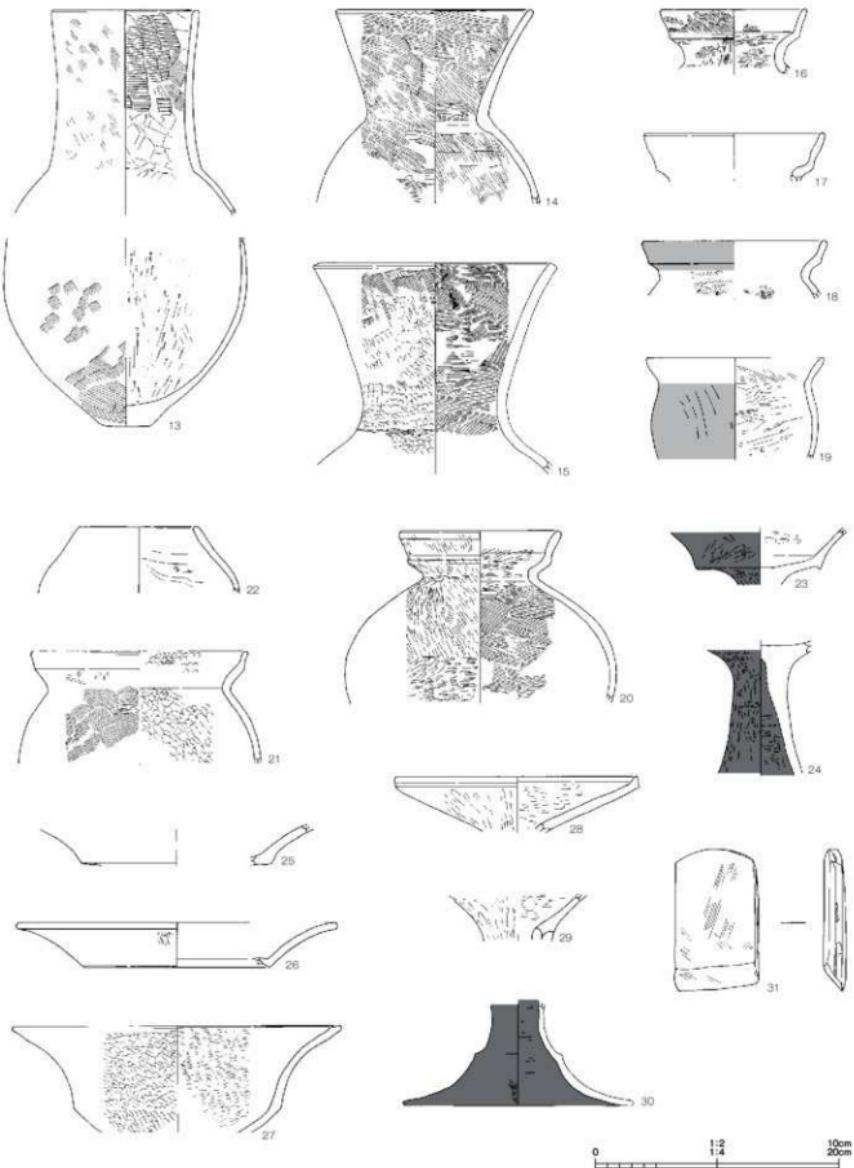
第4図 遺物実測図(1/4)

若杉遺跡(1) 今井南道路(2) 戸畠神田道路(3) 朴木A道路(4~8) 二の井II遺跡(9~11) 沖塙原東B道路(12)

図版	No.	出土地区	種類	器種	口径(cm)	高さ(cm)	底径(cm)	備考	残存量
第4図	1	2丁	近代船形	両		4.3		若杉遺跡 見込み日跡	底はげ完存
	2	1丁	越中衛門	小皿	9.7			今井南道路 距輪	口1/8
	3	表土	越中衛門	すり鉢				戸畠神田道路 鈎貝10枚	破片
	4	5丁	環芯器	环	11.3			朴木A道路	破片
	5	表探①	環芯器	环		9.6		朴木A道路	底1/6
	6	5丁	環芯器	環	8.0			朴木A道路 外面自然軸	破片
	7	表探②	環芯器	環				朴木A道路	破片
	8	珠洲	甕(重)					朴木A道路	破片
	9	1丁	環芯器	甕				二の井II遺跡	破片
	10	1丁南区	八尾	甕				二の井II遺跡	破片
	11	1丁南区	珠洲	すり鉢				二の井II遺跡 鈎貝	破片
	12	7丁	珠洲	甕(重)		18.6		沖塙原東B道路	底1/8
第5図	13	弥生上器	甕	甕	12.0	(34.0)	4.0	IIの宮城跡	口1/2 体1/8 底完存
	14	弥生上器	甕	甕	15.9			IIの宮城跡	口はげ完存
	15	弥生上器	甕	甕	19.0			IIの宮城跡	口1/4
	16	弥生上器	甕	甕	11.7			IIの宮城跡	口定存
	17	弥生上器	甕	甕	14.5			IIの宮城跡	口1/8
	18	弥生上器	甕	甕	14.8			IIの宮城跡 外面縫付着	口1/8
	19	弥生上器	甕	甕	14.2			IIの宮城跡 外面縫付着	口1/8
	20	弥生上器	甕	甕	12.8			IIの宮城跡	口定存
	21	弥生上器	甕	甕	16.4			IIの宮城跡	口1/8
	22	弥生上器	甕	甕	9.4			IIの宮城跡	口1/6
	23	弥生上器	高环	高环				IIの宮城跡 外面赤彩痕	破片
	24	弥生上器	高环	高环				IIの宮城跡 内外赤彩痕	胸部完存
	25	弥生上器	高环	高环				IIの宮城跡	破片
	26	弥生上器	高环	高环	25.8			IIの宮城跡	口1/16
	27	弥生上器	高环	高环	26.8			IIの宮城跡	口1/8
	28	弥生上器	器台	器台	19.5			IIの宮城跡	口2/3
	29	弥生上器	器台	器台				IIの宮城跡	破片
	30	弥生上器	器台	器台				立神B道路	底2/3
	31	碧玉石斧					18.5		

第3表 出土遺物観察表[試掘調査・工事立会調査]

口: 口縫部 体: 体部 截: 截部



第5図 遺物実測図(1/4,31:1/2)  
日の宮城跡 (13~30) 立神B道路 (31)

1. 2 T造構検出  
(西から)



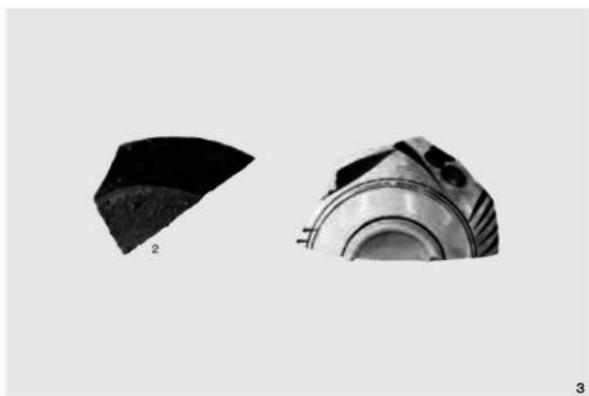
2. 3 T造構検出  
(北から)



3. 出土遺物  
近代磁器



図版2 今井南遺跡 試掘調査



1. 1T全景  
(東から)

2. 1T造構検出  
(北から)

3. 出土遺物  
近代陶磁器

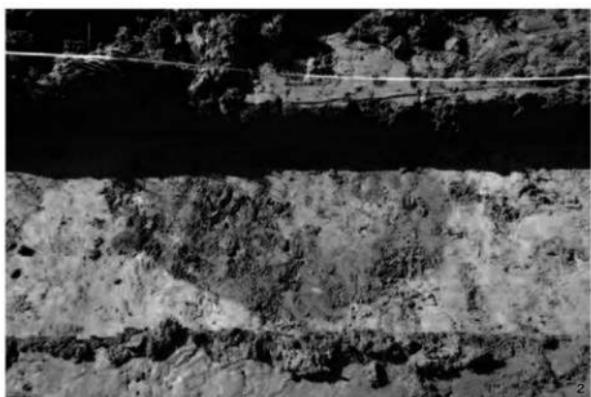
3

戸破神田遺跡 試掘調査 図版3

1. 1T全景  
(東から)



2. 1T遺構検出  
(北から)



3. 出土遺物  
近世越中瀬戸  
近代陶磁器  
不明土器



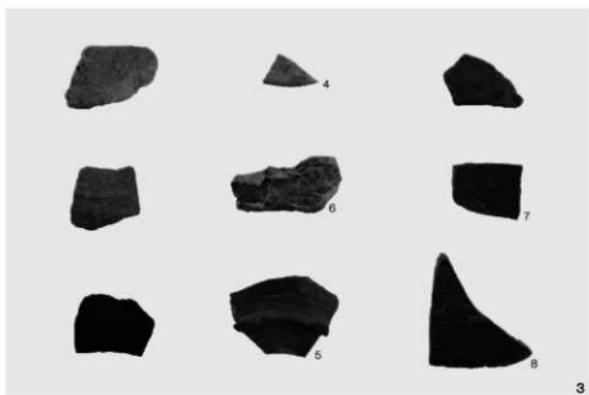
図版4 朴木A遺跡 試掘調査



1. 調査対象地南区全景  
(北から)



2. 6T全景  
(東から)



3. 出土遺物  
亦生土器  
古代須恵器  
中世株洲

1. 調査対象地全景  
(南から)



1

2. 1T全景  
(西から)



2

3. 出土遺物  
不明土師器



3

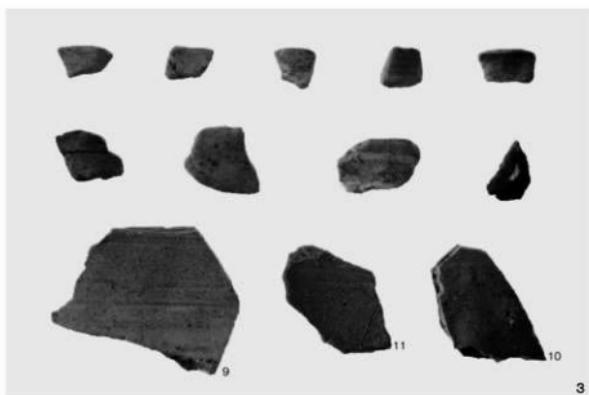
図版6 二の井II遺跡 試掘調査



1. 1T造構検出  
(東から)



2. 1T造構検出  
(東から)



3. 出土遺物  
亦生土器  
古代須恵器  
中世株洲  
中世八尾  
緑色凝灰岩

沖塙原東B遺跡 試掘調査 図版7

1. 調査対象地全景  
(東から)



2. 4T造構検出  
(南から)



3. 出土遺物  
中世珠洲



図版8 日の宮城跡 工事立会調査



1. 調査状況  
(北から)



2. 遺構検出  
(東から)



3. 遺構検出  
(北から)

1. 弓生土器出土状況  
(北から)



2. 出土遺物  
弓生土器



3. 出土遺物  
弓生土器



図版10 立神B遺跡 工事立会調査



1. 調査状況  
(南から)



2. 調査状況  
(東から)



3. 出土遺物  
磨製石斧

# 報告書抄録

ふりがな 書名	いみずしないいせきはつくつちょうさほうこくじゅうさん 射水市内遺跡発掘調査報告13						
副書名	令和元年度射水市内遺跡発掘調査						
編著者名	田中 明						
編集機関	射水市教育委員会						
所在地	〒939-0284 富山県射水市新聞発 410 番地 1 Tel 0766-51-6637						
発行年月日	西暦 2021 年 2 月 26 日						
ふりがな 主な所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯	東經	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
い ほりかん だ い せき 戸破神田遺跡	い ほり し ほりかん 射水市戸破	211 082	36° 43' 13"	137° 06' 26"	令和元年度 20191009	37.8	集合住宅建築
ほ うの き えい い せき 朴木A遺跡	い ほり し ほりの ま 射水市朴木	211 026	36° 45' 24"	137° 04' 59"	令和元年度 20191113・ 20191115	161.5	宅地造成
ひ に に い せき 二の井II遺跡	い み ず し ほしげじゅう 射水市橋下条	211 147	36° 42' 09"	137° 05' 15"	令和元年度 20200110	24.5	個人専用住宅建築
ひ め じょう あと 日の宮城跡	い み ず し ひのみや 射水市日宮	211 149	36° 42' 06"	137° 05' 20"	令和元年度 20191106・ 20200217・ 20200219	209.0	急傾斜地崩壊対策
ひ そがねい い せき 立神B遺跡	い み ず し いりあいじ 射水市入会地	211 358	36° 39' 56"	137° 04' 04"	令和元年度 20200129・ 20200131	902.0	森林作業道開設
お きつかはらの かしひい い せき 沖塚原東B遺跡	い み ず し おきつかはら 射水市沖塚原	211 034	36° 44' 51"	137° 04' 43"	令和元年度 20200323	11.4	市道改良
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
い ほりかん だ い せき 戸破神田遺跡	散布地	古代・中世	近代溝・近代井戸 不明溝	近世越中瀬戸 近代陶磁器・不明土師器			
ほ うの き えい い せき 朴木A遺跡	散布地	弥生・古代	なし	弥生土器・古代須恵器 中世珠洲			
ひ に に い せき 二の井II遺跡	散布地・集落	弥生	弥生溝	弥生土器・古代須恵器 中世珠洲・中世八尾 綠色凝灰岩			
ひ め じょう あと 日の宮城跡	集落・城館	弥生・中世	弥生溝	弥生土器・中世珠洲 綠色凝灰岩			
ひ そがねい い せき 立神B遺跡	製鉄	不明	なし	磨製石斧			
お きつかはらの かしひい い せき 沖塚原東B遺跡	散布地	中世	なし	中世珠洲			
要約	日の宮城跡の工事立会調査では、弥生時代後期の大溝（環濠）を確認した。						

\* その他の試掘調査・工事立会調査の抄録は第1・2表を参照下さい。

## 射水市内遺跡発掘調査報告13

- 令和元年度射水市内遺跡発掘調査 -

---

2021(令和3)年2月26日発行

編集・発行 射水市教育委員会

〒939-0294

富山県射水市新開発410番地1

TEL.0766-51-6637

印 刷 株式会社タニグチ印刷

---